

令和元年度 1 学期

【 人権教育 】

鹿児島地区 Mom!学級づくり連続講座

(1) 期日 ① 令和元年5月16日(木), ② 6月11日(火)・14日(金), ③ 7月12日(金)

(2) 場所 日置市東市来文化交流センター

(3) 実際

本年度、地区内小・中学校の教職員を対象に年間7回の連続講座を実施しており、21名の教職員が参加しています。「Mom」とは「M:見つめる」「o:思いをめぐらす」「m:向き合う」という教師が子どもに寄り添う姿勢を意味しています。講座では、このMomのサイクルにより、人権教育をとおして子ども同士が支え合う人間関係の構築を図ったり、子どもと教師が確かな信頼関係で向き合ったりするなど、教育活動の基盤となる学級づくりについて、深く追究し、実践力を備えた教員を育成することをねらいとしています。講座生らは、お互いに日頃の学級づくりの悩みや難しさ、楽しさなどを語り合いながら、真剣に講座に取り組んでいます。



▲ 講義の様子

鹿児島地区ブロック別人権教育研修会(兼 日置地区PTA正副会長等研修会)

(1) 期日 令和元年7月6日(土)

(2) 場所 日置市中央公民館

(3) 実際

会には、地区内の小中学校・高校・特別支援学校PTA正副会長等役員の方々や教職員ら計135名の方々が参加しました。

講師の宮内礼治さん(宮丸太鼓店店主・部落解放同盟鹿児島県連合会書記次長)は「誇りをもって生きる」を演題に、太鼓づくりの実演をしながら、部落差別や職業差別について、自らの生き立ちをとおして感じ考えたことを話されました。

研修会后、参加者の方々からの感想には、人権意識の向上や人権感覚を磨くことの大切さ、人権教育の重要性などが数多く綴られていました。



▲ 研修の様子